



平成19年2月13日

各位

会社名 株式会社 ポスフル
 代表者名 代表取締役社長 植村 忠規
 (コード番号 7512 東証一部・札証)
 問合わせ先 経営企画室室長 濱田 和成
 (TEL 011-865-4104)

平成19年2月期業績予想の修正及び特別損失額の修正
 並びに特別損失の発生に関するお知らせ

平成18年10月6日に公表した平成19年2月期(平成18年3月1日～平成19年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年2月期 連結業績予想数値の修正(平成18年3月1日～平成19年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	113,300	1,020	2,790
今回修正予想(B)	112,721	1,026	16,081
増減額(B-A)	579	6	13,291
増減率(%)	0.5	0.6	476.4
(ご参考)前年同期実績	114,250	451	722

2. 平成19年2月期 個別業績予想数値の修正(平成18年3月1日～平成19年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	113,300	1,000	2,800
今回修正予想(B)	112,721	1,000	16,097
増減額(B-A)	579	-	13,297
増減率(%)	0.5	-	474.9
(ご参考)前年同期実績	114,250	426	707

3. 特別損失額の修正の内容

平成18年7月13日に「固定資産の減損に係る会計基準」の適用による特別損失の計上について公表いたしましたとおり、平成19年2月期第1四半期に25億22百万円、中間期に2億65百万円の減損損失を計上しておりますが、追加で7億65百万円計上し、当期末の減損損失計上額は35億53百万円となりました。

また、平成19年2月期中間期に当社が店舗の賃借に伴い差入れている敷金・保証金等の債権につきまして、今後の回収可能性及び店舗の資産価値等を総合的に勘案した結果、9億88百万円の貸倒引当金を特別損失として計上いたしておりますが、追加で76億81百万円計上し、当期末の貸倒引当金繰入額は86億70百万円となりました。

4．特別損失の発生及びその内容

平成19年2月期において店舗の自家発電装置の利用を停止しておりますが、自家発電装置のレンタル契約は途中解約は不能であり、将来の利用が見込まれないことから、将来発生する予定の賃借料相当額4億66百万円を特別損失として計上しております。

また、将来の店舗の閉鎖に備え、将来発生すると見込まれる額44億円を特別損失として計上しております。

5．通期の業績修正の理由

売上高及び経常利益については前回公表した予想数値から大きく乖離しておりませんが、上記3、4に記載の特別損失を計上したことにより当期純損失が大幅に増加したため、今回の修正に至りました。

上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上